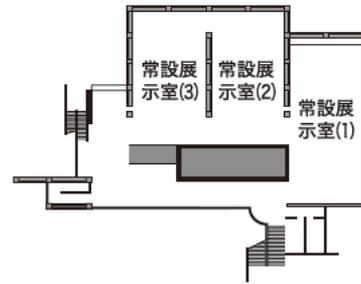
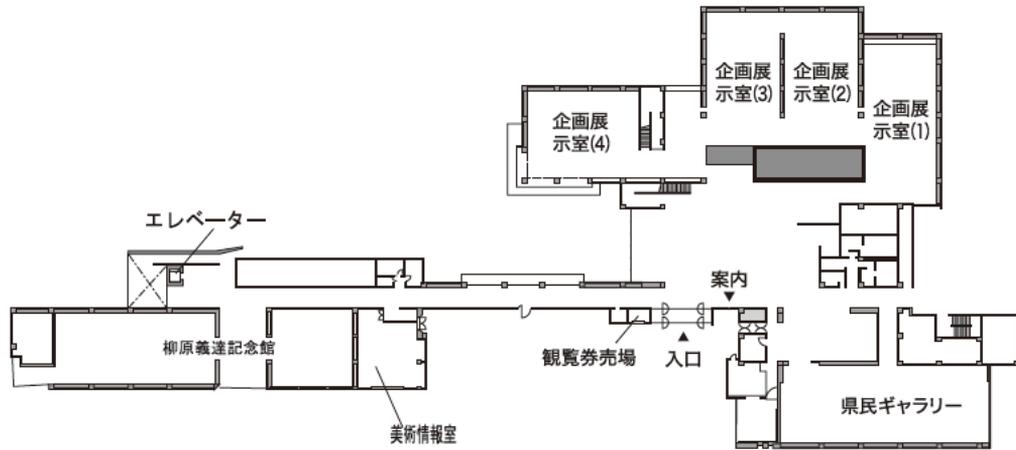


大橋歩展 会場案内

2F



1F



1F企画展示室(1)～(4) 『平凡パンチ』の時代 1962～
フリーランスになって 1972～
ピンクハウスの仕事 1980～
書籍・雑誌のために ～2009

絵本・子ども向けに
版画
モノクローム
アートとして
そして『アルネ』

1F県民ギャラリー 特集展示：『平凡パンチ』1964～1971

1F柳原記念館B室 特集展示：石井厚生展

大橋歩 略歴

- 1940年 三重県安濃郡（現・津市）に生まれる。
- 1956年 三重県立四日市高等学校に入学。
- 1959年 多摩美術大学油絵科入学。
- 1963年 友人に誘われ、ヴァンチャケットにイラストを持ち込み、その場で雑誌『メンズクラブ』連載ページのイラストを受注する。
- 1964年 『メンズクラブ』掲載の絵を見た平凡出版（現：マガジンハウス）の編集者・清水達夫氏より『平凡パンチ』の表紙の絵を依頼される。この頃より「大橋歩」のペンネームを使用。
- 1970年 『アンアン』創刊。イラストとともに初めてエッセイを発表。
- 1971年 『平凡パンチ』の専属をおり、フリーランスになる。様々な広告媒体のイラストレーションに携わるようになる。
- 1972年 初エッセイ『トマトジュース』出版
- 1973年 高田喜佐と港区南青山に共同事務所を持つ。
- 1979年 個展「ONE WEEK ONE SHOW スタイル画展」を見に来ていたデザイナー・金子功氏に、ピンクハウスの仕事を依頼される。
- 1980年 この年から約10年間ピンクハウスのポスターや案内状の原画を手がける。
- 1983年 東京ガスの新聞広告でADC賞受賞。
- 1992年 この頃から雑誌に挿絵・エッセイを発表する機会が多くなる。
- 2001年 『村上ラヂオ』（村上春樹著）装画・挿絵、『模倣犯』（宮部みゆき著）装画を手がける。
- 2002年 季刊誌『アルネ』創刊。企画・取材・写真撮影・編集までをひとりで行う。
- 2009年 三重県立美術館にて「大橋歩展 平凡パンチからアルネまで アート・ファッション・ライフスタイル 1964年～2009年」を開催。
7年半出版してきた『アルネ』を30号にて終刊予定。

大橋歩展

平凡パンチからアルネまで
アート・ファッション・ライフスタイル
1964年～2009年

2009年10月24日(土)～12月6日(日)

三重県立美術館

主催：三重県立美術館 朝日新聞社

助成：(財)岡田文化財団 (財)三重県立美術館協力会